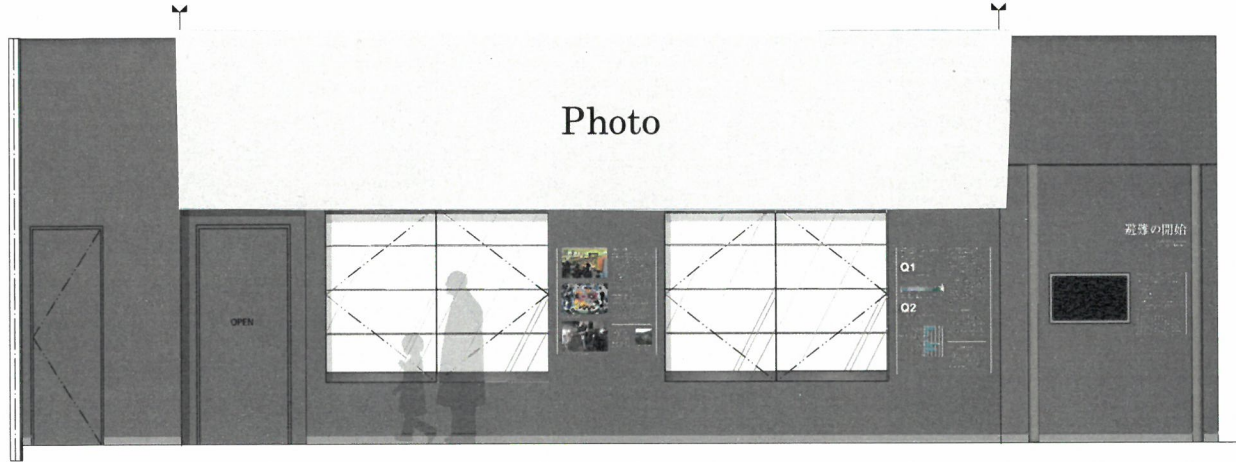
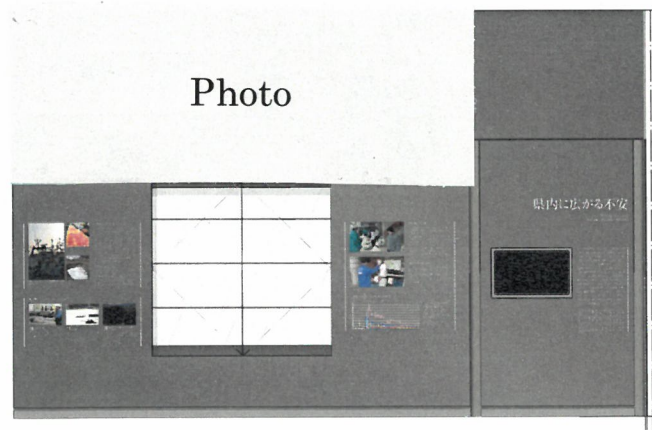


承認欄

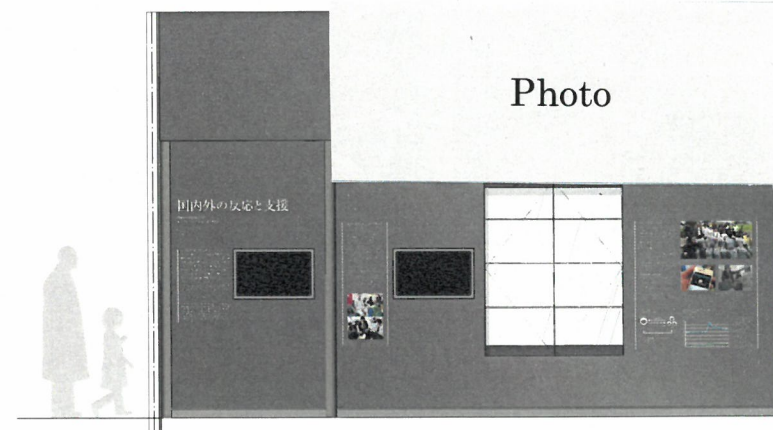
A2-1 ELEVATION: B



A2-2 ELEVATION: B



A2-3 ELEVATION: C



承認欄

国内外の反応と支援

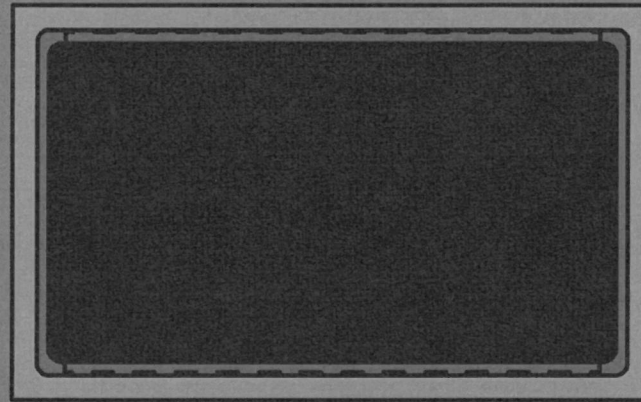
Aaaaaaaaaaaaaaaaa

簡体字簡体字 繁體字繁體字 한국어한국어

甚大な被害の発生に対し、国内のみならず世界中のメディアが注目しました。その深刻な被害状況が伝えられると、世界中から支援の手が差し伸べられ、163の国、地域および43の国際機関からの支援の申し入れがありました。在日アメリカ軍の支援では、2万名以上、艦船約20隻、航空機約160機を投入した「トモダチ作戦」を実施。オーストラリア軍機は、国内の輸送支援および原子力発電所の冷却に必要な特殊ポンプをオーストラリアから緊急輸送しました。

今回の災害では、SNS^(*)の活用による情報発信など、これまでとは異なる方法の支援が見られたことも大きな特徴です。

(*) SNS ソーシャル・ネットワーキング・サービス



Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa Aaaaa
 Aaaaa Aaaaa Aaaaa (H00)

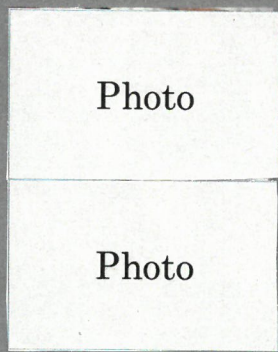
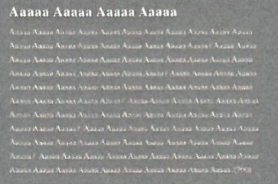
業務名称	チェック	日付	設計	備考	図面名称	縮尺	図面番号
東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設	+				展示室		A2-3
展示基本設計図					平面・展開・詳細図		

A2 原子力発電所 事故直後の対応_ A2-3

承認欄

世界が捉えた原子力発電所事故

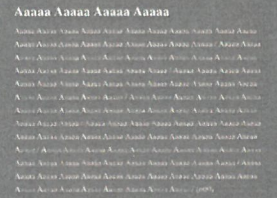
東日本大震災と原子力発電所事故から生まれた未曾有の... 世界は世界中の注目を集め、海外のメディアも大きく取り上げました...



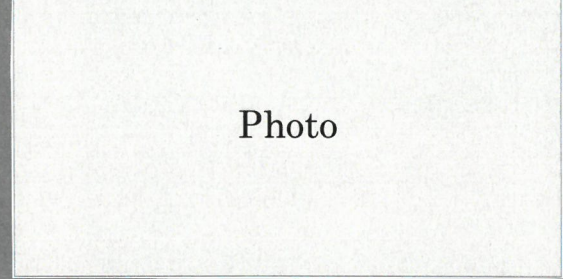
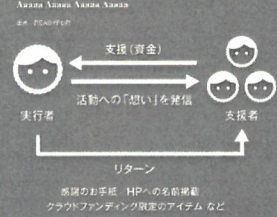
新しい支援のかたち

今回の災害における支援活動の特徵として、スマートフォンやGPS機能やインターネットのSNSをはじめとする情報技術(IT)の活用が挙げられます...

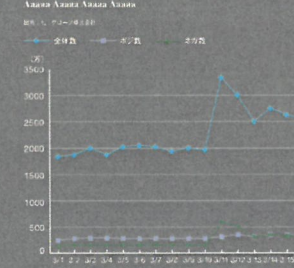
また、東日本大震災をきっかけに、被災地の復旧・復興に向けた活動のための資金調達手段として、クラウドファンディングが盛んになりました...



支援の仕組み



東日本大震災におけるツイッターの利用状況について



1日の平均ツイート数は約1,800万件に対し、震災当日の1日1日は、約3,300万件とツイート件数が1.8倍に増加... 震災1週間後には2,500万件ほどに回復し、震災後平均ツイート数は約2,200万件を維持...

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 001	【上面】 白画面に文字が浮かぶ。タイトル: 原発避難の7日間 <small>7日間の事故の実像(仮題)</small> 【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。	Photo	ナレーション(以下、N) 福島第一原子力発電所の事故。 あの時、何が起きていたのか? 3月11日以降の7日間の出来事を見てみましょう。	【上面】 原発避難の7日間 7日間の事故の実像 【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々の文字が順次現れては消える。	
C 002	【上面】 文字テロップと地震直後の映像 【下面】 地震発生イメージCG	Photo	N 3月11日。14時46分。東北地方太平洋沖地震が発生。	【上面】 3月11日 14:46 0日目 DAY 0 【下面】	福島県 東日本大震災における活動報告書 福島県会津保険福祉事務所
C 003	【上面】 地震直後の映像や写真を用いたマルチ画面	Photo Photo Photo Photo Photo Photo Photo Photo		【上面】	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
		Photo			
	【下面】 地震発生イメージCG	Photo		【下面】	
C 004	【上面】 福島第一原発の映像	Photo	N 福島第一原子力発電所では震度6強の揺れを観測。	【上面】 福島第一原子力発電所	4_政府_中間_事故調査報告書 P77
	【下面】 地震発生イメージCG			【下面】	3月11日14時46分頃、東北地方太平洋沖地震が発生し、東京電力株式会社(以下「東京電力」という。)福島第一原子力発電所(以下「福島第一原発」という。)においても、震度6強の強い揺れを観測した。
C 005	【上面】 福島第一原発の映像	Photo	N 6基の原子炉のうち、4号機から6号機は定期点検のため停止中で稼働中の1号機から3号機は地震を感知して緊急停止しました。	【上面】 福島第一原子力発電所	4_政府_中間_事故調査報告書 P78
	【下面】 地震発生イメージCG			【下面】 福島第一原子力発電所 震度6強を観測 1,2,3号機緊急停止 4,5,6号機定期点検停止中 3月11日 14時46分 東北地方太平洋沖地震発生	
C 006	【上面】 津波当時の映像	Photo	N その約50分後に津波が発電所を襲います。	【上面】	4_政府_中間_事故調査報告書 P90
	【下面】 津波の到達イメージCG		※実写映像の音声あり	【下面】 宮崎県沖 福島県沖 福島第一原発	3月11日15時27分頃及び同日15時35分頃の2度にわたり福島第一原発に津波が到達し遡上して4m盤に設置された非常用海水系ポンプ設備が被水
C 007	【上面】 津波当時の写真	Photo	N このときの津波が、全交流電源喪失という被害をもたらします。	【上面】	東京電力事故調査報告書_概要版P16 4_政府_中間_事故調査報告書 P91
	【下面】 津波の到達イメージCG			【下面】	ほとんどの電源盤も被水するといった事態が発生した。 このため同日 15 時 37 分から同日 15 時 42 分にかけての頃 1号機から6号機は、6号機の空冷式DG(6B)を除き全ての交流電源を失った。
C 008	【上面】 津波当時の映像	Photo		【上面】	
	【下面】 津波の到達イメージCG			【下面】	※国会事故調査報告書P31 全交流電源喪失は津波でない可能性記載あり

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 009	【上面】 津波当時の写真	Photo		【上面】	
	【下面】 津波の到達イメージCG			【下面】	
C 010	【上面】 津波当時の映像	Photo		【上面】	
	【下面】 津波の到達イメージCG			【下面】	
C 011	【上面】 津波当時の映像	Photo		【上面】 福島第一原発所	
	【下面】 津波の到達イメージCG			【下面】 宮崎県沖 福島県沖 福島第一原発	
C 012	【上面】 政府の記者会見映像	Photo	N 19時03分、政府は史上初めてとなる「原子力緊急事態宣言」 を発令します。	【上面】 3月11日 午後7時3分	総務省 東日本大震災記録集 P208 https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinihon/item/higashinihon001_24_04-01.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月11日 19時03分 原子力緊急事態宣言	
C 013	【上面】 政府の記者会見映像	Photo	N ※実写映像の音声あり(枝野会見音UP)	【上面】 枝野官房長官(当時) 原子力緊急事態宣言が発せられた	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月11日 19時03分 原子力緊急事態宣言	
C 014	【上面】 文字テロップ	Photo	N 3月12日。	【上面】 3月12日 DAY 1	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 1号機 炉心溶融の危機	

1: 原発避難の7日間 「7日間の事故の実像」

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 015	【上面】 1号機 CG	Photo	N 1号機には、炉心融解の危機が迫っていました。	【上面】	
	【下面】 地震発生時			1号機	
C 016	【上面】 1号機 CG	Photo	N 早朝から、1号機の格納容器内の蒸気を外に逃がして内部の圧力を下げる操作「ベント」を開始します。	【上面】	東京電力事故調査報告書_概要版P16 9:04 ベントのため運転員現場へ出発も線量高く実施できず。 10:17 1回目のベント実施。 早朝という表現検討中
	【下面】 文字テロップ			【下面】 1号機 格納容器内の蒸気を内部の圧力を外に逃がす ベント開始	
C 017	【上面】 福島第一原発の映像	Photo	N しかし、15時36分、	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (1P右側) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 文字テロップ			【下面】	
C 018	【上面】 海水注入作業の写真	Photo	N 3月12日。19時04分 爆発した1号機には、海水の注入作業が行われました。	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:04 海水注入作業	
C 019	【上面】 海水注入作業の写真	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:04 海水注入作業	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 020	【上面】 海水注入作業の映像	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:04 海水注入作業	
C 021	【上面】 海水注入作業のCG	Photo	N 3月13日	【上面】	<p>主電源喪失に備えた注水装置と関係しているものは 1号機は非常用復水器(IC) 2,3号機は「原子炉隔離時冷却系(RCIC)」 3/12 2:55 2号機RCIC運転確認(東電事故調査報告書 P23)</p> <p>3/14 13:25 2号機RCICの機能喪失 →原子炉冷却機能喪失と判断 (東電事故調_概要P23)</p> <p>3号機のRCICは 3/12 11:36に停止 その後 3/12 12:35 HPCI 起動も 3/13 2:42 HPCI停止(国会事故調P25) ※設備損傷による原子炉の蒸気放出を懸念し手動停止。 再起動を試みるも、バッテリー枯渇で起動できず</p> <p>注水できたり、できなかったりというのが実情。 蒸気を駆動源とする高圧注水系(HPCI)、原子炉各隔離時 冷却系(RCIC)、 非常用復水器(IC)があったが・・・ (東電_事故調_本編 P318) →全電源喪失に備えたもの と判断可能か</p>
	【下面】 文字テロップ(日付)			【下面】 3月13日 2日目 DAY 2	
C 022	【上面】 注水装置イメージCG	Photo	N 2号機と3号機は、全電源喪失に備えた注水装置が 炉心に水を注入し続けていました	【上面】	<p>注水できたり、できなかったりというのが実情。 蒸気を駆動源とする高圧注水系(HPCI)、原子炉各隔離時 冷却系(RCIC)、 非常用復水器(IC)があったが・・・ (東電_事故調_本編 P318) →全電源喪失に備えたもの と判断可能か</p>
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全電源喪失に備えた 注水装置から注水	
C 023	【上面】 原子炉の減圧イメージCG	Photo	N 圧力容器の減圧がうまくいかず、	【上面】 (CG解説)圧力容器 格納容器	<p>"東京電力事故調査報告書_概要版P25</p> <p>改善点の提案として、速やかに減圧、 低圧注水へ移行できる電源を準備し、 訓練しておく事が必要との記述あり</p> <p>→速やかに減圧できなかったということ</p>
	【下面】 文字テロップ			【下面】 圧力容器内の 減圧	
C 024	【上面】 原子炉の水位低下イメージCG	Photo	N 圧力容器内の水位が低下していました。 そして、9時10分ころ	【上面】 (CG解説)原子炉	<p>国会事故調査報告書 P25</p>
	【下面】 文字テロップ			【下面】 圧力容器内の 水位低下	

1： 原発避難の7日間 「7日間の事故の実像」

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 025	【上面】 炉心露出イメージCG	Photo	N 炉心の露出が始まりました。	【上面】	9:10ごろ 炉心露出開始
	【下面】 文字テロップ			【下面】 炉心露出	
C 026	【上面】 3号機原子炉建屋の水素爆発の映像	Photo	N 3月14日 11時01分	【上面】	東京電力事故調査報告書_概要版P22
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月14日 11:01 3日目 DAY 3	
C 027	【上面】 3号機原子炉建屋の映像	Photo	N 3号機原子炉建屋が水素爆発を起こし、大破しました。	【上面】 (映像解説) 3号機	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 3号機原子炉建屋の水素爆発イメージCG			【下面】 3月14日 11:01 3号機原子炉建屋 水素爆発 大破	
C 028	【上面】 3号機原子炉建屋の映像	Photo	N この爆発で7人が負傷、復旧作業も中断しました。	【上面】	P 6 左側
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3号機 水素爆発 大破	
C 029	【上面】 4号機原子炉建屋の映像	Photo	N 3月15日	【上面】	
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月15日 4日目 DAY 4	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 030	【上面】 4号機原子炉建屋の映像	Photo	N 大きな衝撃音と振動が発生し、その後4号機原子炉建屋の水素爆発とみられる損傷が確認されました。	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 「〇〇〇 (外部サイトURL)」 P3左側
	【下面】 4号機原子炉建屋の水素爆発イメージCG			【下面】 3月15日 6時頃 4号機原子炉建屋 水素爆発	
C 031	【上面】 放射線量を示す棒グラフ	Photo	N 3月15日以降	【上面】	
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月16日 5日目 DAY 5	
C 032	【上面】 放射線量を示す棒グラフ	Photo	N 観測される放射線量の上昇が続きます。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月15日以降 放射線量上昇	
C 033	【上面】 水素爆発前後の風向きCG。	Photo	N 原子力安全・保安院は、記者会見で	【上面】 3月15日 午前10時	原子力保安委の会見議事録(2011/3/16.12:04-12:20) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」 動画(冒頭0:00-1:00ぐらいで話してます) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」 によると、原子力保安委は 状況を把握しているわけではなく 東電からそのような情報を得た事を伝聞で伝えるのみ。 コメント内容 「東電によると2号機から出てる何らかの放射性物質 と言いますか、その可能性が高いのではないかという情報 を私どもは持っているということでございます。」 →演出として 放射線量の上昇とその原因を探っている当時の状況を 来館者に理解してもらうカットを想定
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月15日以降 放射線量上昇	
C 034	【上面】 原子力安全・保安院の記者会見写真	Photo	N 「圧力抑制室が破損した2号機が原因である可能性が高い」と説明しました。	【上面】 3原子力安全保安院 会見	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 2号機 圧力抑制室の破損	
C 035	【上面】 核燃料プールの映像	Photo	N 3月17日。 9時48分。	【上面】	時刻の出典 (朝日新聞) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」 同2機が午前9時48分から午前10時まで、バケツ (容量7.5トン) でくみ上げた海水を交互に投下した。
	【下面】 文字テロップ (日付)			【下面】 3月17日 09:48 6日目 DAY 6	

1: 原発避難の7日間 「7日間の事故の実像」

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 036	【上面】 核燃料プールの映像	Photo	N 使用済み核燃料プールの水位が	【上面】	
	【下面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水イメージCG			【下面】	
C 037	【上面】 核燃料プールの水位が低下していくイメージCG	Photo	N 低下していた3号機に対し、	【上面】	
	【下面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水イメージCG			【下面】	
C 038	【上面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水の映像	Photo	N 陸上自衛隊ヘリコプター2機が	【上面】	平成23年防衛白書 特集 東日本大震災 http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/2011/2011/index.html
	【下面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水イメージCG			【下面】	
C 039	【上面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水の映像	Photo	N 消化バケットを使い、計4回、30トンの放水を行いました。	【上面】 自衛隊ヘリコプターによる燃料プールへの放水	https://www.mod.go.jp/j/kids/comic/h23/index.html (まんが版) 放水作業1回につき7.5t 4回投下(9:48,9:52,9:54,10:00)
	【下面】 陸上自衛隊ヘリコプター放水イメージCG			【下面】	
C 040	【上面】 3号機原子炉建屋の映像	Photo	N さらに19時35分。 自衛隊の消防車、計5台が3号機に対して 約30トンの放水を行いました。	【上面】 (映像解説) 3号機 4号機	東京電力による3/11-7/31の第一原発実績報告 P7 <使用済燃料プールへの注水> 「〇〇 (外部サイトURL)」 東電3/17記者会見(3/18 0:16~開始) 「〇〇 (外部サイトURL)」 自衛隊10t車5台(50t)との会見コメントあり
	【下面】 大型破壊機救難消防車イメージCG			【下面】	
C 041	【上面】 文字テロップ (日付)	Photo	N 3月18日 10時00分	【上面】 3月18日 10:00 7日目 DAY 7	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (最後から4P目) 「〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 大型破壊機救難消防車イメージCG			【下面】	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 042	【上面】 燃料プールイメージCG	Photo	N 各号機共用で使用済み核燃料を貯蔵する	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (最後から4P目)<使用済燃料共有プール> 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 使用済み核燃料貯蔵プールの位置を示すイメージCG			【下面】	
C 043	【上面】 燃料プールイメージCG	Photo	N プールの水位が確保されていること、	【上面】 燃料プール	
	【下面】 使用済み核燃料貯蔵プールの位置を示すイメージCG			【下面】 (CG解説) 使用済み核燃料貯蔵プール 水位確保	
C 044	【上面】 乾式輸送容器 写真	Photo	N 使用済み核燃料の 乾式輸送容器建屋の外観に異常がないことが 確認されます。	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (最後から4P目)<乾式キャスク建屋> 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 乾式輸送容器建屋の位置を示すイメージCG			【下面】 (CG解説) 使用済み核燃料貯蔵プール 水位確保 乾式輸送容器建屋外観 異常なし	
C 045	【上面】 自衛隊消防車が3号機に放水する映像	Photo	N 14時からは、自衛隊の消防車と東京電力の協力企業社員が 操作する在日米軍提供の消防車を使って3号機に放水。	【上面】	<使用済燃料プールへの注水> [真水の注入] 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 大型破壊機救難消防車写真			【下面】 大型破壊機救難消防車	
C 046	【上面】 自衛隊消防車が3号機に放水する映像	Photo		【上面】	
	【下面】 大型破壊機救難消防車写真			【下面】 大型破壊機救難消防車	
C 047	【上面】 自衛隊消防車が3号機に放水する映像	Photo		【上面】	
	【下面】 大型破壊機救難消防車写真			【下面】 在日米軍の消防車	

1. 原発避難の7日間 「7日間の事故の実像」

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 048	【上面】 電源復旧作業の写真	Photo	N 2号機の非常用炉心冷却装置を復帰させるため、東京電力が外部送電線からの受電を完了し、建屋内への送電の準備が始まりました。	【上面】 電源復旧作業の様子	<外部電源の信頼性確保> (P11 その他) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 文字テロップ			【下面】 非常用炉心冷却装置を 復帰させるための 外部送電線からの電源復旧作業	
C 049	【全面】 福島第一原発の映像	Photo	N これが、この先も続く原子力災害との闘いの、最初の1週間の記録です。	【上面】 【下面】	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 001	【上面】 白画面に文字が浮かぶ。 タイトル: 原発避難の7日間 非難を求められた人々(仮題)	Photo	N 3つの原子炉がメルトダウンし、7日間で14万人が避難した	【上面】 原発避難の7日間 非難を求められた人々	3/15時点で 102,648人避難。 出典：文部科学省 自主的避難関連データ P2 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kaihatu/016/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2011/11/25/1313502_3.pdf ピーク時16万4千人(2012年5月) 出典：復興庁 復興の現状 P2 https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/20180309_genjou.pdf
	【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々	
C 002	【上面】 福島第一原子力発電所の映像	Photo	N 福島第一原子力発電所事故	【上面】	
	【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】	
C 003	【上面】 震災資料の映像	Photo	N あの時何が起きていたのか 3月11日以降の7日間	【上面】	
	【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】	
C 004	【上面】 震災資料の映像	Photo	N 原子力発電所の近くにいた人々が	【上面】	
	【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】	
C 005	【上面】 立ち入り禁止地区の映像	Photo	N 懸命に生きる道を模索した人々の行動の記録です	【上面】	
	【下面】 原発避難に関する文字がコラージュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】	
C 006	【上面】 震災直後の写真	Photo	N 3月11日、14時46分 東北地方太平洋沖地震が発生	【上面】	福島県 東日本大震災における活動報告書 福島県会津保険福祉事務所 P3
	【下面】 地震発生のイメージCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 007	【上面】福島第一原発に津波が到達するイメージCG	Photo	N 巨大な津波が沿岸部に押し寄せ	【上面】	福島県 東日本大震災における活動報告書 福島県会津保険福祉事務所 P3
	【下面】地震発生時のイメージCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生	
C 008	【上面】福島第一原発に津波が到達するイメージCG	Photo	N 大熊町と双葉町にまたがる	【上面】	大熊町震災記録誌 詳細版 P47 福島第一原発は大熊町と双葉町の町境をまたいで立地している。
	【下面】位置関係を示すCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生 (CG解説テロップ)	
C 009	【上面】福島第一原発内部に津波が到達するイメージCG	Photo	N 福島第一原子力発電所に	【上面】	https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1525.pdf
	【下面】位置関係を示すCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生 (CG解説テロップ)	
C 010	【上面】福島第一原発内部に津波が到達するイメージCG	Photo	N 全交流電源喪失という	【上面】	東京電力事故調査報告書_概要版P16 4_政府_中間_事故調査報告書 P91 ほとんどの電源盤も被水するといった事態が発生した。 このため、同日 15 時 37 分から同日 15 時 42 分にかけての 頃、1号機から6号機は、6号機の空冷式 DG(6B)を除き、 全ての交流電源を失った。 ※国会事故調査報告書P31 全交流電源喪失は津波でない可能性記載あり
	【下面】位置関係を示すCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生 (CG解説テロップ)	
C 011	【上面】福島第一原発内部に津波が到達するイメージCG	Photo	N 壊滅的な被害をもたらします	【上面】	※国会事故調査報告書P31 全交流電源喪失は津波でない可能性記載あり
	【下面】位置関係を示すCG			【下面】 3月11日 14時45分 東北地方太平洋沖地震発生 (CG解説テロップ)	
C 012	【上面】文字テロップ	Photo	N 1号機から4号機が建つ大熊町では、	【上面】 大熊町の場合	大熊町震災記録誌 詳細版 P47 大熊側に原子炉1～4号機 https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1525.pdf
	【下面】位置関係を示すCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 013	【上面】 大熊町災害対策本部の映像	Photo	N 災害対策本部を立ち上げます。	【上面】	福島県 東日本大震災における活動報告書 福島県会津保険福祉事務所 P10
	【下面】 位置関係を示すCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 014	【上面】 大熊町災害対策本部の映像	Photo	N 津波の高さは約13m、	【上面】	大熊町震災記録誌 概要版 P9 町に立地する東京電力福島第一原子力発電所の推計では波高は13m https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1524.pdf
	【下面】 位置関係を示すCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 015	【上面】 大熊町災害対策本部の映像	Photo	N 町民11人が犠牲となりました。	【上面】	大熊町公式サイトのもめでは、直接死 12名 https://www.town.okuma.fukushima.jp/soshiki/jumin/1007.html
	【下面】 位置関係を示すCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 016	【上面】 文字テロップ	Photo	N 5号機と6号機が建つ双葉町も	【上面】 双葉町の場合	大熊町震災記録誌 詳細版 P47 双葉側に原子炉5,6号機が建ち https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1525.pdf
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 017	【上面】 双葉町空撮映像	Photo	N 沿岸部が津波に襲われます。	【上面】	福島県双葉町の東日本大震災アーカイブズ 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 津波到達のイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 018	【上面】 双葉町避難所の写真	Photo	N 町では避難所を開設し、	【上面】	福島県双葉町の東日本大震災アーカイブズ 2.東日本大震災直後の避難 この日夕方、町は双葉中学校、双葉北小学校、ヘルスクエアふたば
	【下面】 津波到達のイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 019	【上面】 双葉町避難所の写真	Photo	N 2500人以上を収容しました。	【上面】	等に避難所を設置し、少なくとも計2,500人以上の町民の方々が集まって～ 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 津波到達のイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 020	【上面】 首相官邸	Photo	N 19時03分、 政府から史上初めてとなる「原子力緊急事態宣言」が発令されました。	【上面】 首相官邸	総務省 東日本大震災記録集 P208 https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinohon/item/higashinohon001_24_04-01.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:03 史上初の 原子力緊急事態宣言	
C 021	【上面】 政府の記者会見映像	Photo	N 3月12日	【上面】 3月12日	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 022	【上面】 政府の記者会見映像	Photo	N 政府から発電所の半径10Km以内に避難指示が発令。 10km圏内は大熊町の居住地のほぼ全域にあたり、	【上面】 本日5時44分に総理から新たに半径10km圏内の住民に10km圏内に避難するよう指示がありました	大熊町震災記録誌 概要版 P15 平成23年3月12日午前6時前、大熊町役場2階総務課の電話が鳴った。町長宛の電話の相手は内閣 総理大臣補佐官。東京電力福島第一原子力発電所の半径10km圏内避難指示の連絡だった。10km圏内は町居住地のほぼ全域にあたり、この指示は「全町避難」を意味するに等しい。 https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1524.pdf
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 023	【上面】 避難する人々の映像	Photo	N この指示は	【上面】	
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 024	【上面】 避難する人々の映像	Photo	N 「全町避難」を意味していました。	【上面】	
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 025	【上面】 避難する人々の写真	Photo	N 双葉町でも 午前8時に	【上面】	福島県双葉町の東日本大震災アーカイブズ 2.東日本大震災直後の避難 翌12日(土)、町は8時に福島県伊達郡川俣町への避難指示を広報 しました。 約2,200人の町民と役場職員の方々は、 川俣小学校ほか計11か所の避難所へ出発しました。 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 026	【上面】 避難する人々の写真	Photo	N 川俣町への避難指示が広報され、	【上面】	
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 027	【上面】 避難する人々の写真	Photo	N 約2,200人の町民は11か所の避難所へ出発します。	【上面】	
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 028	【上面】 文字テロップ	Photo	N 町の一部が10Km圏内に含まれる浪江町も、避難場所を探 します。	【上面】 浪江町の場合	浪江町震災記録誌 第1章東日本大震災後の主な動き P015 浪江町の主な動き 3/12 6:07 災害対策本部会議(10km圏外への避難について) <a href="https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachmen
t/8397.pdf">https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachmen t/8397.pdf
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 029	【上面】 当時の浪江町役場の写真	Photo	N 北への道は寸断され、南には発電所。	【上面】	浪江町震災記録誌 原発事故による屋内退避・避難 <a href="https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachmen
t/8404.pdf">https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachmen t/8404.pdf 有事の際の連絡協定を結んでいた東京電力からの連絡は浪江町に なく、 テレビ報道のみを頼りに屋内退避や避難の対応に当たった
	【下面】 避難区域を示すイメージCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 030	【上面】 避難所の写真	Photo	N 残された選択肢は発電所から20km離れた北西部の津島地区でした。	【上面】	浪江町震災記録誌 原発事故による屋内退避・避難 https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/8404.pdf 当時の防災無線の記録 P060 「総理大臣の指示により原子力発電所から10km以内の地域に避難指示が出ました。立野・室原・末ノ森方面に避難してください
	【下面】 浪江町からの避難場所が津島地区になるアニメーション。			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 031	【上面】 避難所の動画	Photo	N やがて住民の避難が一斉に始まり、	【上面】	
	【下面】 富岡町のクローズアップ 国道36号線の渋滞を表示するCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 032	【上面】 渋滞する車	Photo	N 津島地区に向かう国道では大渋滞が発生しました。	【上面】	浪江町震災記録誌 原発事故による屋内退避・避難 P061 https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/8404.pdf 津島地区へ向かう車列の写真あり
	【下面】 津島地区へ避難する渋滞を表示するCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 033	【上面】 文字テロップ	Photo	N 福島第二原子力発電所がある富岡町でも	【上面】 富岡町の場合	富岡町 東日本大震災による被災の状況 P97 https://www.tomioka-town.jp/material/files/group/3/4.pdf 富岡町は3月12日、内閣総理大臣が発した「福島第一原子力発電所から半径20km圏内からの避難指示」を受け、近隣の川内村に避難。 さらに、3月15日には内閣総理大臣から新たに福島第一原子力発電所から半径20kmから30km圏内の住民に対する屋内退避の指示が出たため、 3月16日川内村と共に郡山市(ビッグバレットふくしま)に避難しました。 富岡町 東日本大震災による被災の状況 P28
	【下面】			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 034	【上面】 富岡町の映像	Photo	N 全町避難の指示が出され、	【上面】 富岡町	https://www.tomioka-town.jp/material/files/group/3/1.pdf 全町避難に切り替え。 町民は、着の身着のまま避難指示に応じた。(要約)
	【下面】 津島地区へ避難する人々の流れ			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 035	【上面】 富岡町の映像	Photo	N 住民は着の身着のまま町を後にします。	【上面】	
	【下面】 渋滞を表示するCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 036	【上面】 富岡町の映像	Photo	N 避難先に指定された川内村へと続く	【上面】 福島第二原発	
	【下面】 渋滞を表示するCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 037	【上面】 富岡町の映像	Photo	N 県道36号線には避難する人々の車で長い車列ができました。	【上面】	富岡町 震災発生からの1ヶ月 P28 https://www.tomioka-town.jp/material/files/group/3/1.pdf サムネイルと同じ写真掲載
	【下面】 渋滞を表示するCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 038	【上面】 1号機水素爆発の映像	Photo	N 15時36分 1号機原子炉建屋、水素爆発。	【上面】 1号機 水素爆発	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (1P右側) 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 文字テロップ			【下面】 15:36 1号機 原子炉建屋 水素爆発 大破	
C 039	【上面】 津島地区の映像	Photo	N 原子力発電所から出た放射性物質は、 海からの風に乗って浪江町の住民たちが避難する津島地区 へも流れていきました。	【上面】 津島地区	WSPEEDIシミュレーション (データ提供：日本原子力研究開発機構) https://nsec.jaea.go.jp/ers/environment/envs/fukushima/ https://nsec.jaea.go.jp/ers/environment/envs/fukushima/animation1.htm
	【下面】 避難する人々と放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 040	【上面】 避難する人々の写真	Photo	N 3月13日	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 13月13日 2日目 DAY2	
C 041	【上面】 避難する人々の写真	Photo	N 大熊町も双葉町でも、多くの町民が着の身着のまままで避難、	【上面】	大熊町震災記録誌 概要版 P21 平成23年3月12日早朝の避難指示で大熊町を離れたとき、職員も含め町民の多くは東京電力福島 第一原子力発電所の状況も分からず、「ほんの2、3日のつもり」で着の身着のままバスに乗り込んだ。 https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1524.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 13月13日 2日目 DAY2	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 042	【上面】 津島地区の映像	Photo	N これが現在まで続く	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 13月13日 2日目 DAY2	
C 043	【上面】 避難場所の写真	Photo	N 全町避難につながるとは誰も想像できませんでした。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全町避難	
C 044	【上面】 避難場所の写真	Photo	N 避難先のテレビで	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全町避難	
C 045	【上面】 避難場所の写真	Photo	N 一号機建屋の爆発事故を知った人々は、	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全町避難	
C 046	【上面】 避難場所の写真	Photo	N 徐々に事態の深刻さを受け止めざるを得なくなります。	【上面】	東京電力による 3/11-7/31の 第一原発実績報告 (最後から4P目)<使用済燃料共有プール> 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全町避難	
C 047	【上面】 避難場所の写真	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 全町避難	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 048	【上面】 文字テロップ	Photo	N 3月14日、11時01分	【上面】 3月14日	
	【下面】			【下面】 午前11時01分	
C 049	【上面】 3号機 水素爆発の映像	Photo	N 3号機原子炉建屋が水素爆発を起こします	【上面】 3号機 水素爆発	東京電力事故調査報告書_概要版P22
	【下面】 文字テロップ			【下面】 午前11時01分	
C 050	【上面】 福島県災害対策本部のメモの映像	Photo	N 大熊町の双葉病院では、	【上面】 福島県災害対策本部のメモ	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 確認中 双葉地域の要救助者メモより 南相馬市 ○○人 ○○○○病院 南相馬市 ○○人 南相馬市立小高病院	
C 051	【上面】 福島県災害対策本部のメモの映像	Photo	N まだ95人の患者が病院長や医療スタッフとともに取り残されていきました	【上面】 福島県災害対策本部のメモ	人数確認中
	【下面】 文字テロップ			【下面】 双葉地域の要救助者メモより 南相馬市 ○○人 ○○○○病院 南相馬市 ○○人 南相馬市立小高病院	
C 052	【上面】 自衛隊ヘリの救助の写真	Photo	N 残された人々の避難は、自衛隊によって完了しますが、	【上面】	警察の動き確認中
	【下面】 文字テロップ			【下面】 双葉地域の要救助者メモより 南相馬市 ○○人 ○○○○病院 南相馬市 ○○人 南相馬市立小高病院	
C 053	【上面】 浪江町避難の写真	Photo	N 移動中や移送先で50人が命を落としました	【上面】 避難の様子（14日浪江町）	人数確認中
	【下面】 文字テロップ			【下面】 双葉地域の要救助者メモより 南相馬市 ○○人 ○○○○病院 南相馬市 ○○人 南相馬市立小高病院	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 054	【上面】 浪江町避難の写真	Photo	N 3月15日 20km～30km圏内の住民に屋内退避指示が出されました	【上面】 3月15日 4日目 DAY4	大熊町震災記録誌 概要版P53 大熊町震災年譜 https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1524.pdf
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 屋内避難指示 (CG解説テロップ)	
C 055	【上面】 浪江町避難指示の文書の写真	Photo	N 津島地区に避難していた浪江町の職員たちは、浪江町全域からの避難を決定。住民が移動をしていたその時、放射性物質が風に乗って津島地区周辺を通過しました。	【上面】	浪江町震災記録誌 原発事故による屋内退避・避難 P61 https://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/8404.pdf 3/15 10:00 20km圏外全域に避難指示発令(町長) WSPEEDIシミュレーション (データ提供：日本原子力研究開発機構) https://nsec.jaea.go.jp/ers/environment/envs/fukushima/
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 屋内避難指示 (CG解説テロップ)	
C 056	【上面】 文字テロップ	Photo	N 南相馬市では、多くの住民が留まっていたために	【上面】 南相馬市の場合	南相馬市災害記録誌 P36 3月15日には、政府から原子力災害特別措置法に基づき、20kmから30km圏内に屋内退避指示が出された。原発事故の影響により、30km圏内に物流業者が入らなくなり、市内においてガソリンや生活必需品などの物資が十分に供給されない状況となり、また市内において多くの小売店も避難により閉店状態となり、市内での十分な日常生活を営むことが困難な状況であった。また、各メディアは原発事故後30km圏内から避難し、取材に入らなかったことから、市内の状況が外部に伝わらなかったため、市長自らがインターネット動画やニュースの電話取材により、市内の状況についての情報を発信した。
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 057	【上面】 南相馬市空撮映像	Photo	N 深刻な事態に直面します	【上面】	https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/20160608-092533.pdf
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 058	【上面】 南相馬市の閉まったスーパーマーケットの写真	Photo	N 必要な物資が足りなくなっていました	【上面】	
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 059	【上面】 南相馬市の閉まったスーパーマーケットの写真	Photo		【上面】	
	【下面】 放射性物質飛散の動きのCG			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 060	【上面】 南相馬市の避難する人々の写真 【下面】 放射性物質飛散の動きのCG	Photo	N 日常生活が危ぶまれると判明した南相馬市は緊急避難計画を作成し、市の判断で住民に対して	【上面】 【下面】 (CG解説テロップ)	南相馬市災害記録誌 P32 https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/8/20160608-092533.pdf
C 061	【上面】 南相馬市の避難する人々の写真 【下面】 放射性物質飛散の動きのCG	Photo	N 市外への自主避難およびバスにより集団避難を呼びかけました。	【上面】 【下面】 (CG解説テロップ)	市は福島第一原発の事故により、物資が市内に入らなくなったことを受け、市民の日常生活が危ぶまれると判断し、独自の緊急避難計画を作成し、市民を市域外へ避難させることを決め、バスでの集団避難を実施した。
C 062	【上面】 文字テロップ 【下面】	Photo	N 富岡町と川内村は新たな避難先を探していました。	【上面】 富岡町・川内村の場合 【下面】	ナレーションカット
C 063	【上面】 川内村の映像 【下面】 避難所の写真	Photo	N 寒さや長距離移動による住民の健康悪化を不安視した富岡町は	【上面】 川内村 【下面】	富岡町 東日本大震災による被災の状況 P34 どこに避難すればいいのか? 県では南会津と群馬県の片品の方へと言っていた。だが、この寒さの中南会津に向かったら、避難所暮らして体が弱った高齢者は耐えられない。しかもピストン輸送するとしても時間がかかりすぎる。「会津は無理だ、何とかならないのか」と語気を強めて県と押し問答をしていた連藤町長が「わかった、もう頼まない」と電話を切った。そして以前から親交のあった県職員が館長を務めていた「ビッグパレットふくしま」に電話をした。
C 064	【上面】 避難所の写真 【下面】 ビッグパレットふくしまの外観映像	Photo	N 郡山の「ビッグパレットふくしま」を避難場所として確保、	【上面】 富岡町から川内村へ避難した人々 【下面】 ビッグパレットふくしま(郡山市)	
C 065	【上面】 避難所の写真 【下面】 ビッグパレットふくしまの内観映像	Photo		【上面】 【下面】	富岡町 震災発生からの1ヶ月 P33 3.11からの主な動き https://www.tomioka-town.in/material/files/group/3/1.pdf

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	ナレーション出典
C 066	【上面】 避難所の写真	Photo	N 川内村と一緒に集団避難しました。	【上面】	3/16 富岡町と川内村の住民約5000人が郡山市のビッグパレット ふくしまに避難
	【下面】 避難所の写真			【下面】	
C 067	【上面】 イメージ映像	Photo	N 福島県で7日間に避難した人は14万人にのぼりました。	【上面】	3/15時点で 102,648人避難。 出典：文部科学省 自主的避難関連データ P2 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kaihatu/016/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2011/11/25/1313502_3.pdf ピーク時16万4千人(2012年5月) 出典：復興庁 復興の現状 P2 https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/20180309_genjou.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 福島県 事故後7日間に避難した人々 約14万人	
C 068	【上面】 避難所の映像	Photo	N 移動に伴う心身への負担や急激な環境の変化などにより、	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 福島県 事故後7日間に避難した人々 約14万人	
C 069	【上面】 避難所写真	Photo	N 避難途中、避難先で	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 福島県 事故後7日間に避難した人々 約14万人	
C 070	【上面】 避難所写真	Photo	N 亡くなった人も少なからずいたので	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 福島県 事故後7日間に避難した人々 約14万人	
C 071	【上面】 福島第一原発 夕日の映像	Photo	N 多くの人々にとって過酷な避難となりました。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 福島県 事故後7日間に避難した人々 約14万人	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 001	【上面】 白画面に文字が浮かぶ。タイトル: 原発避難の7日間 滞った物流(仮題)	Photo	N 福島に大打撃を与えた福島第一原子力発電所事故。 あの時何が起きていたのか、 3月11日以降の7日間を、物流の観点から見ていきます。	【上面】 原発避難の7日間 滞った物流	
	【下面】 原発避難に関する文字がカラーシュされるアニメーション。または、時計&カレンダーのイメージアニメーション。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	
C 002	【上面】 原発空撮	Photo		【上面】 原発空撮	
	【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	
C 003	【上面】 トラックCG	Photo		【上面】 トラックCG	
	【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	
C 004	【上面】 トラックCG	Photo		【上面】 トラックCG	
	【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	
C 005	【上面】 日本地図CG	Photo		【上面】 日本地図CG	
	【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	
C 006	【上面】 日本地図CG	Photo		【上面】 日本地図CG	
	【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。			【下面】 東北地方太平洋沖地震、原子力緊急事態宣言、福島第一原子力発電所、ベント、全交流電源喪失、緊急停止、等々。	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 007	【上面】 地震映像	Photo		【上面】 3月11日 14時46分 1日目 DAY 0	福島県 東日本大震災における活動報告書 福島県会津保険福祉事務所 P3
	【下面】 津波CG			【下面】	
C 008	【上面】地震写真	Photo	N 東北地方太平洋沖地震に続いて 津波が押し寄せた福島第一原子力発電所は、 大きな被害を受けます。	【上面】 3月11日 14時46分 1日目 DAY 0	4_政府_中間_事故調査報告書 P90 3月11日15時27分頃及び同日15時35分頃の2度にわたり、 福島第一原発 に津波が到達し、遡上して、4m盤に設置された 非常用海水系ポンプ設備が被水
	【下面】 津波CG			【下面】	
C 009	【上面】津波映像	Photo		【上面】	
	【下面】 津波CG			【下面】	
C 010	【上面】津波映像	Photo		【上面】	
	【下面】 津波CG			【下面】	
C 011	【上面】空撮	Photo		【上面】 福島第一原子力発電所	
	【下面】 津波CG			【下面】	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 012	【上面】 記者会見	Photo	N 19時3分、政府は	【上面】	総務省 東日本大震災記録集 P208 https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinohon/item/higashinohon001_24_04-01.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:03 史上初の 原子力緊急事態宣言	
C 013	【上面】 記者会見	Photo	枝野コメント 「原子力緊急事態宣言」が発せられました」	【上面】	総務省 東日本大震災記録集 P208 https://www.fdma.go.jp/disaster/higashinohon/item/higashinohon001_24_04-01.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 19:03 史上初の 原子力緊急事態宣言	
C 014	【上面】 避難所写真	Photo	N 3月12日、住民への避難指示は 半径20km圏内に拡大されます。	【上面】	大熊町震災記録誌 概要版P53 大熊町震災年譜 https://www.town.okuma.fukushima.jp/uploaded/attachment/1524.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 18:25 1日目 DAY1	
C 015	【上面】 暖を取る人々	Photo		【上面】	
	【下面】 20km範囲のCG			【下面】	
C 016	【上面】 空港写真	Photo	N 福島空港では、	【上面】 福島空港に集まった救援ヘリ	国交省 航空局 東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題 P1 https://www.mlit.go.jp/common/001062705.pdf
	【下面】 CG地図 空港			【下面】 福島空港 福島第一原子力発電所	
C 017	【上面】 空港写真	Photo	N 管制塔と保安施設の一部に被害があったものの、	【上面】	
	【下面】 CG地図 空港			【下面】 福島空港 福島第一原子力発電所	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 018	【上面】 空港写真	Photo	N 航空機の運航には支障がなかったため、	【上面】	国土省 航空局 東日本大震災における空港を利用した活動状況と課題 P1 https://www.mlit.go.jp/common/001062705.pdf
	【下面】 CG地図 空港			【下面】 福島空港 福島第一原子力発電所	
C 019	【上面】 空港写真	Photo	N 救援物資の受け入れ拠点となりました。	【上面】	
	【下面】 CG地図 空港			【下面】 福島空港 福島第一原子力発電所	
C 020	【上面】 道路写真	Photo	N 高速道路が仮復旧し、緊急車両の通行が可能になり、こうした救援物資は、陸路などで運ばれようとしていました。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 11:00 東北道・常磐道	
C 021	【上面】 道路写真	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 11:00 東北道・常磐道	
C 022	【上面】 物資を運ぶ様子	Photo		【上面】	https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/hw_arikata/teigen/t01_data01.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 11:00 東北道・常磐道	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 023	【上面】 援助物資輸送	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 11:00 東北道・常磐道	
C 024	【上面】 援助物資輸送	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月12日 11:00 東北道・常磐道	
C 025	【上面】 崩れた道路	Photo	N しかし・・・	【上面】	<ul style="list-style-type: none"> ・主要国道 国道4号、6号など 23カ所で通行止め →国交省災害情報(3/12第8報P43-P44) https://www.mlit.go.jp/common/000237129.pdf ・一般国道 国道188号、288号など 11箇所で開催止め →国道118号と288号か？ →岩手・宮城は9箇所、福島のみ4箇所 P48,49 ・県道 白河羽鳥線など 98箇所で開催止め →岩手・宮城は31箇所。福島のみ57箇所 P53-56 ・農林道広域農道白河西部など 5箇所で開催止め →確認中
	【下面】 文字テロップ			【下面】 平成23年3月12日現在 ・主要国道 国道4号、6号など 23カ所で通行止め ・一般国道 国道188号、288号など 11箇所	
C 026	【上面】 崩れた道路	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 平成23年3月12日現在 ・主要国道 国道4号、6号など 23カ所で通行止め ・一般国道 国道188号、288号など 11箇所	
C 027	【上面】 空撮	Photo	N 3月13日。被災地では物資が不足。沿岸部は津波による被害で壊滅。	【上面】	南相馬市災害記録誌 P40 物資の供給状況 https://dwasteinfo.nies.go.jp/archive/past_doc/201103minamisouma/07.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月13日 2日目 DAY2	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 028	【上面】 空撮	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】	
C 029	【上面】 津波後の写真	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月13日 2日目 DAY2	
C 030	【上面】 仙台製油所被災	Photo	N 東北の石油精製をになっていた製油所が被災し ガソリンなど燃料が枯渇、	【上面】	南相馬市災害記録誌 P41 ガソリンの確保と供給 https://dwasteinfo.nies.go.jp/archive/past_doc/201103minamisouma/07.pdf
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月13日 2日目 DAY2	
C 031	【上面】 被災した線路	Photo		【上面】	
	【下面】 タンクローリーの走行記録CG			【下面】	
C 032	【上面】 ガソリンスタンド渋滞	Photo	N ガソリンを求める行列が増えていきます。	【上面】	
	【下面】 タンクローリーの走行記録CG			【下面】	
C 033	【上面】 コンビニ7/11	Photo	N 3月14日。人々の間に不安が広がる中、	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月14日 3日目 DAY3	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 034	【上面】コンビニ7/11	Photo	N コンビニやスーパーは自主的に炊き出しをするなど、	【上面】	「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】文字テロップ			【下面】 3月14日 3日目 DAY3	
C 035	【上面】コンビニ7/11	Photo	N 地域の生活を懸命に支えていました。	【上面】	
	【下面】コンビニ行列、空っぽの店頭など写真			【下面】	
C 036	【上面】スーパー(2店舗)	Photo	N しかし、商品棚が空になり、閉鎖を余儀なくされます。	【上面】	3/23 朝日新聞 届かぬ食材、閉まる店 南相馬深刻な食料不足 「〇〇〇 (外部サイトURL)」
	【下面】コンビニ行列、空っぽの店頭など写真			【下面】	
C 037	【上面】爆発	Photo	N 3月15日。1号機、	【上面】	
	【下面】文字テロップ			【下面】 3月15日 4日目 DAY4	
C 038	【上面】爆発	Photo	N 3号機原子炉建屋に続き、	【上面】	福島県_第一原発事故調査報告 P11 水素を含むベントガスが排気管を通じて4号 機に流入し、 3月15日6時14分、水素爆発が発生し、原子炉建屋の上部が大きく 壊れた。
	【下面】文字テロップ			【下面】 3月15日 4日目 DAY4	
C 039	【上面】3,4号機	Photo	N この日の早朝6時14分、4号機原子炉建屋が水素爆発。	【上面】	
	【下面】文字テロップ			【下面】 06:14 4号機建屋 水素爆発	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 040	【上面】 総理会見	Photo	N 11時00分、半径20kmから30km圏内の地域に、	【上面】	国会_事故調査報告書 P368 3月15日11時に福島第一原発から20～30km圏内に対する屋内退避指示が出されて以降、
	【下面】 文字テロップ			【下面】 11:00 半径20～30km圏内 屋内避難指示	
C 041	【上面】 避難住民写真	Photo	N 屋内退避が指示されました。	【上面】	国会_事故調査報告書 P368 3月15日11時に福島第一原発から20～30km圏内に対する屋内退避指示が出されて以降、
	【下面】 圏内CG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 042	【上面】 避難住民写真	Photo	N この指示によって、物資の輸送にも影響が始めます。	【上面】	
	【下面】 圏内CG			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 043	【上面】 避難住民写真	Photo			
	【下面】 圏内CG				
C 044	【上面】 避難住民写真	Photo			
	【下面】 圏内CG				

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 045	【上面】 病院映像	Photo	N 3月16日。	【上面】 映像提供：南相馬市立総合病院	<p>全日本自治団体 自主レポート 震災後の南相馬市立病院の現状_被災から今日まで_ 福島県本部 南相馬市職員労働組合 ○○○○○○</p> <p>「○○○ (外部サイトURL)」 4. 発災直後から たくさんの被災された人が搬送されてきました。津波は当院から 東方1キロメートル先のところで収束しました。南相馬市の震災 死は636人、震災関連死は485人（2016年1月20日現在）、人口 の約1.6%にあたる1,121人となりました。</p> <p>前項の時系列にあるように3月12日には、福島第一原発1号機 の水素爆発が起こり、同日夕方には、同原発から半径20キロメー トル圏内に避難指示が出されました。そのことにより小高病院か らの患者受け入れ要請があり、68人の患者が市立総合病院に搬送 されましたがベッドが無いために講義室に布団を敷いて対応せざるを得ませんでした。</p>
	【下面】			【下面】 3月16日 5日目 DAYS	
C 046	【上面】 病院映像	Photo	N 発電所の近くから避難してきた入院患者であふれかえっていた	【上面】	<p>全日本自治団体 自主レポート 震災後の南相馬市立病院の現状_被災から今日まで_ 福島県本部 南相馬市職員労働組合 ○○○○○○</p> <p>「○○○ (外部サイトURL)」</p> <p>原発から20～30キロメートル圏内に屋内退避の指示が出され、 外部から人や物資が入らない状況に陥り、 DMAT、救急車両、医師、看護師も同様の状況となりました。</p>
	【下面】			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 047	【上面】 病院映像	Photo	N 南相馬市の災害拠点病院では、	【上面】	<p>全日本自治団体 自主レポート 震災後の南相馬市立病院の現状_被災から今日まで_ 福島県本部 南相馬市職員労働組合 ○○○○○○</p> <p>「○○○ (外部サイトURL)」</p>
	【下面】 CG 病院と原発			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 048	【上面】 病院映像	Photo	N 酸素や薬のストックが	【上面】	<p>全日本自治団体 自主レポート 震災後の南相馬市立病院の現状_被災から今日まで_ 福島県本部 南相馬市職員労働組合 ○○○○○○</p> <p>「○○○ (外部サイトURL)」</p>
	【下面】 CG 病院と原発			【下面】 (CG解説テロップ)	
C 049	【上面】 病院映像	Photo	N 底をつきかけていました。 屋内退避指示が出た15日以降、 事故の影響で必要な物資が届かなくなっていたのです。	【上面】	<p>全日本自治団体 自主レポート 震災後の南相馬市立病院の現状_被災から今日まで_ 福島県本部 南相馬市職員労働組合 ○○○○○○</p> <p>「○○○ (外部サイトURL)」</p>
	【下面】 CG 病院と原発			【下面】 (CG解説テロップ)	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 050	【上面】 病院写真	Photo			
	【下面】 圏内CG				
C 051	【上面】 物流CG	Photo	N 携帯電話やカーナビの情報を元に再現した地図。 青い点は物資を運ぶトラックを示しています。 原発から遠く離れた場所では、トラックが活発に移動しています。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 ● = トラックの移動 ● = 人の移動	
C 052	【上面】 物流CG	Photo	N 14日の夜までは南相馬市にも、トラックの行き来がありました。しかし屋内退避指示が出された15以降、物資が届かなくなった状況がわかります。	【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 ● = トラックの移動 ● = 人の移動	
C 053	【上面】 物流CG	Photo		【上面】	
	【下面】 文字テロップ			【下面】 ● = トラックの移動 ● = 人の移動	
C 054	【上面】 物流CG	Photo			
	【下面】 文字テロップ				

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 055	【上面】 南相馬市長	Photo	N 3月17日。市長は電話で窮状を訴えます。	【上面】	出典：使用映像素材
	【下面】 文字テロップ			【下面】 3月17日 6日目 DAY6	
C 056	【上面】 NHKニュース	Photo	N 桜井コメント「ガソリン・生活物資が本当に入ってきません。」	【上面】 当時のNHKニュース	出典：使用映像素材
	【下面】 コメントフォロー			【下面】 南相馬市 桜井勝延市長（当時） コメントフォロー-TW	
C 057	【上面】 NHKニュース	Photo	N 30km以内に屋内退避の指示が出て、30kmの外で交通規制がかかっている、ほとんどこのままでは物資が尽きます」	【上面】 当時のNHKニュース	出典：使用映像素材
	【下面】 コメントフォロー			【下面】 南相馬市 桜井勝延市長（当時） コメントフォロー-TW	
C 058	【上面】 インタビュー	Photo	N 救援物資の輸送を担うトラック協会には、国からの待機指示がかかっています。 ○○コメント「避難エリア拡大で立ち入らないで	【上面】	出典：使用映像素材
	【下面】 コメントフォロー			【下面】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○ コメントフォロー-TW	
C 059	【上面】 メモ	Photo	N 待機してほしいという指示」	【上面】	出典：使用映像素材
	【下面】 コメントフォロー			【下面】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○ コメントフォロー-TW	

	映像内容	サムネイル	音声 その他	テロップ	備考・出典
C 060	【上面】インタビュー	Photo	N 「我々にとっては行くなという指示なので行きようがないんです」	【上面】	出典：使用映像素材
	【下面】コメントフォロー			【下面】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○ コメントフォロー-TW	
C 061	【上面】避難住民	Photo	N 地震や津波の被害によって滞った物流も、住民たちの避難に大きな影響を与えていたのです。	【上面】	
	【下面】文字テロップ			【下面】	
C 062	【上面】避難住民	Photo		【上面】	
	【下面】タンクローリー			【下面】	
C 063	【上面】避難住民	Photo			
	【下面】タンクローリー				

大項目: A2 原子力発電所事故直後の対応	中項目: A2-3 国内外の反応と支援	小項目: A2-3-3 事故発生当時の海外の報道・支援など	種類: 映像
-----------------------	---------------------	-------------------------------	--------

【コンテンツ仕様】 * * * * *

海外テレビ局各社のニュース映像（音声含む）を素材として、原子力発電所事故が国外からも大きな注目をうけたこと及びその関心のあり方を紹介する。また、国内テレビ局各社のニュース映像（音声含む）を素材として、国外から日本及び福島に温かい支援が寄せられたことを紹介する。

*****映像 構成案**

※各国の反応及びその関心のあり方が分かる映像として、事故直後に大きく取り上げたニュース及びその関連ニュースについて、2映像ずつの素材入手とする。

※原則ナレーションはなし。ニュース映像（ニュースコメントの翻訳テロップ含む）を淡々と提示することとする。
ただし、オープニングやつなぎの部分では、アクセントとしてのBGMや、状況理解を補佐するための、文字による最小限の解説は行う。

コメント

visual	image	caption	SE
<p>○オープニング（10秒）</p> <p>海外テレビ局のニュース番組の断片をコラージュ的に表示</p>	Photo		BGM♪ + ニュース番組の音声 (今後追加)
タイトル	Photo	世界のテレビニュースはフクシマをどう伝えたか？	(NA) 世界中から注目を浴びた福島の原子力発電所事故。各国のニュースから当時の反応を振り返ります。
<p>○アメリカでの報道（約25秒）</p> <p>アメリカと日本の位置関係 同国と原子力発電とのかわりについての簡潔な補足解説</p>	<p>アメリカと日本の位置関係</p> <p><small>アメリカの原子力発電所は2009年10月1日に稼働を開始した。1979年にスリーマイル島原子力発電所事故を経験。</small></p>	稼働中の原子炉は99基で世界第一位（2019年時点）。1979年にスリーマイル島原子力発電所事故を経験。	アテンションの効果音
<p>(ニュース①)</p> <p>CBSニュース 2011/3/12 第1号機第1号機の爆発について報道。「日本のチェルノブイリ」と形容。</p>	Photo	<p>CBSニュース 2011年3月12日放送</p> <p>(和訳字幕) 福島の原子力発電所で、1つの原子炉から放射性物質を含んだ爆発が立ちはだかっています。 現在、別の原子炉も停電しています。 これを日本のチェルノブイリだと呼ぶ人もいます。</p>	(NA) アメリカでは、福島第一原子力発電所の水素爆発を日本のチェルノブイリと形容し、大きく取り上げられました。
<p>○フランスでの報道（約25秒）</p> <p>フランスと日本の位置関係（地図情報） 同国と原子力発電とのかわりについての簡潔な補足解説</p>	<p>フランスと日本の位置関係</p> <p><small>フランスは原子力発電の割合が最も高い国の一つです。</small></p>	全発電量の約8割を原子力発電が占める	アテンションの効果音
<p>(ニュース②)</p> <p>France2（公共） 2011/3/12 福島第一原発第1号機爆発についてトップで取り上げた。</p>	Photo	<p>フランス公放送 2011年3月12日放送</p> <p>(NA) フランスでは、福島の原子力発電所事故がトップニュースで取り上げられ、福島入りしたりポーターによって避難所の状況が報告されました。</p>	

visual	image	caption	SE
<p>(ニュース②)</p> <p>France2（公共） 2011/3/23 放射能汚染による日本の状況と、福島で避難する地元住民の生活を直接取材。</p>	Photo	<p>フランス公放送 2011年3月23日放送</p> <p>(和訳字幕) 数千本の水が支給されている地域最大のこの避難所は、2,000人以上の方々が受け入れています。</p>	
<p>○台湾での報道（約25秒）</p> <p>台湾と日本の位置関係 同国と原子力発電とのかわりについての簡潔な補足解説</p>	<p>台湾と日本の位置関係</p> <p><small>台湾は原子力発電所を持っていない国です。</small></p>	日本に次いでアジアで2番目に原子力発電を導入。事故当時、3サイトが運転中だった。	アテンションの効果音
<p>(ニュース③)</p> <p>台視晚間新聞 2011/3/15 放射能濃度について、何十年をかけても除染しきれないと伝える。</p>	Photo	<p>TTV 2011年3月17日放送</p> <p>※ニュースコメントの和訳をテロップ表示</p> <p>(NA) 台湾では、4号機に閉じた炉の衝撃的な映像とともに、多くの使用済み核燃料が保管されていることについて伝えられました。</p>	
<p>(ニュース③)</p> <p>台視晚間新聞 2011/3/17 3/16に起きた火災後の4号機の映像を伝える。</p>	Photo	<p>(和訳字幕) 4号機に大きな穴が開いていて、注目を集めています。 4号機の隣にある使用済み燃料プールには、使用済み核燃料が6375本あるそうです。</p>	

大項目: A2 原子力発電所事故直後の対応	中項目: A2-3 国内外の反応と支援	小項目: A2-3-3 事故発生当時の海外の報道・支援など	種類: 映像
-----------------------	---------------------	-------------------------------	--------

【コンテンツ仕様】 * * * * *

展示のねらい

visual	image	caption	SE	visual	image	caption	SE	コメント
<p>○中継 (10秒)</p> <p>国内テレビ局のニュース番組の断片をコラージュ的に表示</p> <p>東日本大震災及び原発事故で被災した日本及び福島に、世界各地から温かい支援が寄せられたことを簡潔に補足解説</p> <p>(主旨) 被災した福島及び日本に対して、世界各地から様々な方たちでの支援が寄せられた。</p>	Photo		<p>BGM♪ + ニュース番組の音声</p> <p>(NA) 原発事故の発生が大きく取り上げられ、世界から様々な支援が寄せられました。当時のニュースから振り返ります。</p>	<p>(ニュース4) JNN Nスタ 2011/7/17 パリ祭 in 福島 仏が被災地支援の理由 ～パーティエ、仏大使談</p>	Photo	<p>TBS Nスタ 2011年7月17日放送</p> <p>(解説字幕) 被災地を調査しようというパリ祭を初めて福島県で開催。</p> <p>福島の原発事故後もフランス大使館は東京に留み止まり支援のあり方を模索。</p>	<p>(ニュース音声) フランスの革命記念日を祝うパリ祭が、今週初めて福島県で行われました。フランスが被災地を調査しようという開催したもので、会場にはおよそ500人の被災者が招待されました。</p>	
<p>○日本での報道 (約80秒)</p> <p>(ニュース1) ANN スーパーJチャンネル 2011/3/21 中国が巨大ポンプ車を提供</p>	Photo	<p>テレビ朝日 スーパーJチャンネル 2011年3月21放送</p>	<p>(ニュース音声) 福島第一原発の事故現場に向かう、中国製の巨大ポンプ車が公開されました。</p>	<p>(全編) 3分30秒</p>	Photo		<p>このポンプ車は1台およそ8500万円、東京電力が購入したいと中国湖南省の会社に要請しました。</p>	<p>参加した1000人のうち半数が、地元の被災者という異例の祝賀パーティー。日本では毎年東京での開催でしたが、フォーカルフランス大使が支援の姿勢を示す切り札として、福島での開催を実現させました。</p>
<p>(中国人インタビュー和訳) この車は日本で原子炉への放水に使われます。その地盤やを計じ込めるならコンクリートを選ぶこともできます。</p>	Photo	<p>フジテレビ FNNスーパーニュース 2011年3月28日放送</p>	<p>(ニュース音声) 今回の地震でひどく大きな存在を感しているのが、アメリカ軍による救援作戦です。</p>					
<p>(ニュース2) FNN スーパーニュース 2011/4/1 米軍によるトモダチ作戦</p>	Photo	<p>(解説字幕) 支援国の中でも最大の救援作戦が「トモダチ作戦」。</p> <p>多くのアメリカ軍兵士がこの救援作戦に携わりました。</p>	<p>各国から救援の手がさしのべられる中、最大の救援作戦を要請するのがアメリカ。海軍だけでも参加艦艇19隻、航空機140機、そして18,280人のアメリカ軍兵士が24時間体制で働く。</p>					
<p>(ニュース3) JNN Nスタ 2011/6/12 ベトナム難民 被災地福島で恩返し～炊き出しするベトナム難民</p>	Photo	<p>TBS Nスタ 2011年6月12日放送</p>	<p>(ニュース音声) 福島の避難所では、神奈川県に在住のベトナム難民の人たちが、炊き出しを行いました。被災者に響ける、彼らの想いは、</p>					
	Photo	<p>(解説字幕) 釜を失うなどの共通の経験が被災者への思いをより強くし、お世話になった日本への恩返しで炊き出しを行いました。</p>	<p>ベトナム難民の人たちおよそ70人がふるまったのは、米の粉でできた種のフォーや揚げ春巻きなどのベトナム料理です。</p> <p>難民の人たちは前日から準備を始め、夜中に神奈川県を出発。およそ8時間かけて福島にやってきました。</p>					